

学校・教師は、虐待にどう向き合うのか。

「関係の繕い直し」としてのSSWの実践から

都留臨床教育学会では、「子ども理解」を中心に、子どもを取り巻く環境や、援助者について考えてきています。今年度は、スクールソーシャルワーカー（SSW）の荒巻りかさんから話を伺います。荒巻りさんは「関係は絶えず動いている…固定的なものではない、必ず繕いなおせるということを当事者の方がまさに主体的なものとして感じてもらう」（「臨床教育学研究 第7巻 2019. 3」）援助実践を行っていらっしゃいます。参加者の皆さんの、それぞれの場での課題と照らし合わせ、考えを深め、交流していきたいと考えています。

一緒に考えてみませんか？ご参加をお待ちしております。

◇ 日 時 2019年 7月27日（土）

受 付 午後1時45分から2時00分

講演及び学習会 午後2時00分から4時00分

【1時15分からは、同会場でする留臨床教育学会総会を行います。】

◇ 場 所 都留文科大学3号館 3204教室

◇ テーマ 「SSWの活動を通して見えてきたもの、培ってきたもの
—虐待・不登校・地域づくり—」

◇ 講 師 荒巻りかさん（子ども・若者ソーシャルワーカー）
SSWとして小中学校の児童生徒を巡るの相談に携わりながら、子ども・若者支援事業にもかかわっておられます。

◇ 申込み 不要です。当日受付までお越し下さい。

◇ 参加費 無料

当日は、教員免許更新講習も行われています。駐車場には限りがあります。公共交通機関のご利用をお願いいたします。

なお、交通事情や天候などの影響で開催できないときは、大学ホームページ上でお知らせいたします。事前にご確認ください。

問い合わせ先：都留臨床教育学会事務局

[TEL:0554-43-4311](tel:0554-43-4311)（内線 689 筒井研究室）